



おきなわ 私保連だより

No.

137

2019年
(平成31年)
1月25日

発行所

一般社団法人
沖縄県私立保育園連盟
〒903-0804
那覇市首里石嶺町4-373-1
TEL.098(887)1270

発行人：仲地 賢
編集：広 報 部



みんなで作ったムーチャー早く食べたいなあ(たんぽぽ保育園)

もくじ

新年のごあいさつ 会長	2P	玉城顧問への記念品贈呈	7P
新年のごあいさつ 子ども生活福祉部長	3P	沖縄キリスト教短期大学との連絡会	8P
平成30年度受賞者紹介	4P	子どものつばやき・冬の風景	9P
沖私保連新年交流会	5P	沖私保連の動き・編集後記・広告	10P
予算対策部活動報告	6P	広告	11・12P
県出身国会議員への要請行動	7P		

新年のごあいさつ



一般社団法人
沖縄県私立保育園連盟

会長 仲地 賢

あけましておめでとうございます。

昨年も、当連盟各種事業活動に、ご理解ご協力、ご鞭撻を賜りまして、心より感謝申し上げます。昨年は、当連盟の理事役員改選があり、5月の総会において、第27期役員が承認され、2年間の任期を組織の事業活動の推進に邁進すべく、関係各位のご理解とご協力を仰ぎ前へ進んでまいり所存です。今年も、変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

さて、ご案内のとおり、2016年の春「保育園落ちた、日本死ね!」の衝撃的な書込みが世間を騒がせ、大きな社会問題として取り上げられ、国や都道府県、区市町村まで、かつてないほどこの待機児童解消問題が最重要課題として、認識されるようになりました。しかしながら、待機児童問題は、近年突如として浮上したのではなく、女性の社会進出や雇用の不安定化等の変化に伴って1990年代後半から表出してきた問題です。

「少子化」と「待機児」の2つのワードは、国及び地方行政の施策に大きな影響を与えた極めて大きなキーワードです。実際に行政の保育専門部署には「少子化対策〇〇班」や「待機児解消〇〇課」と銘打った部署が設置されたりしていますが、いずれも対策が功を奏したり解消された結果とはなっていません。つまり、少子化は依然として1.3～4台のままですし、待機児も一部の市町村が解消されたと報道されたりもしますが、依然として多いままです。

これまで、当連盟が招聘した多くの専門家が仰るとおり、「国は保育から手を引いた」「最小の予算で最大の保育を要求している」など、保育現場には大変厳しい状況を突きつけてきました。かつて、経済財政諮問会議と規制改革会議は「直接契約」を提言しました。政府の地方分権改革推進会議は「最低基準の見直し」を、社会保障審議会少子化対策特別部会は「保育サービスの提供の仕組みの検討」を定義しました。最近でも、財政制度等審議会の財政制度分科会が「公定価格水準の見直し」と「積み上げ方式から包括方式への移行」を提言しています。更に、子ども・子育て会議では「幼児教育・保育の無償化に関し給食材費の実費負担」を国は推し進めています。しかし、食育こそ極めて重要な保育の一環であり、到底容認できるものではありません。

子育て家庭の貧困率が高い沖縄県の実情を鑑みれば、現在500円～千円程度、3歳以上児の主食費として徴収していますが、主食費3000円、副食費4500円の合計7500円の実費負担は、保護者の家計には大きな負担増となり、社会福祉の観点からも逆行しています。この問題に関しましては、九州保育三団体としても各県で地元の国会議員へ要望書を提出することが決まり、年末に要請活動を行った次第です。

いずれにしても、新たな保育政策を打ち出す度に、矛盾や課題が同時に並存しており、現場に混乱をもたらしています。保育士の処遇を上げるため、保護者の負担を下げるため、の政策には、もろてを挙げて賛同しますが、そうでないものは、制度そのものが極めて難解であるだけに、保育園側としても困惑するのです。

今年は亥年。猪突猛進、がむしゃらに突き進むイメージですが、あくまでも子どもの視点、子どもの立場に立って保育界に山積する諸問題と向き合いたいと思います。そして、ここという時は全身全霊で突き進んでいきましょう。

昨年は「災」という漢字が選ばれたほど日本各地で重大な災害が発生しました。自然災害は人間の力ではどうすることも出来ませんが、保育を取り巻く諸問題は、「かつて自分も子どもだった」ことを思い返し、「自分の子や孫の為になる制度か」制度を作る側の人に考えてもらいたいものです。

今年が、関係各位、当連盟会員園の皆様にとって沢山の祝福があり光注がれたすばらしい年となりますよう祈念し、念頭のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ



沖縄県子ども生活福祉部

部長 大城 玲子

沖縄県私立保育園連盟会員の皆様、謹んで新春のお慶びを申し上げます。年頭にあたり、新年のごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、日頃より、本県の子どもの健やかな成長のため、児童福祉の向上に御尽力いただき、心から感謝申し上げます。

沖縄県は「黄金っ子（くがにっこ）応援プラン」に基づき、平成31年度末までの待機児童解消に向けた取り組みを強化しており、平成30年度から31年度の2年間で約7,000人の保育所等の受け皿の確保及びそれに伴い必要となる約900人の保育士の確保に取り組んでいます。

国においては、待機児童の解消を図るため「子育て安心プラン」を前倒しし、2020年度末までに32万人の受け皿整備を進めるとともに、保育士の更なる処遇改善に取り組むこととしております。

また、今年の10月より、3歳から5歳までの全ての子ども及び0歳から2歳児については住民税非課税世帯を対象に、幼児教育・保育の無償化を実施することとしております。

幼児教育は生涯にわたる人格形成や教育の基礎を培う重要なものであり、幼児教育・保育の無償化は、多くの子どもの育ちにより影響を与えると同時に、子育て家庭の負担軽減につながるものと考えております。

沖縄県におきましても、子育てしやすい社会の実現に向け、待機児童の解消や質の高い幼児教育・保育の確保、子育て世帯の負担軽減など、子育て支援の充実を図ってまいります。

特に保育士の確保や離職防止のための施策として、保育士修学資金の貸付、潜在保育士の再就職準備金の支援、保育士の正規雇用化や年休取得及び産休取得に対する支援のほか、平成30年度からの新たな取り組みとして、保育士休憩取得の支援を実施しております。

また、平成30年4月から、新たに適用された保育所保育指針においては、3歳未満児の保育の意義の明確化、保育に携わる職員の資質・専門性の向上、保護者や地域と連携した子育て支援の必要性などが示されました。このように、保育所に求められる役割が多様化している中、地域との連携体制の構築や職員の専門性の向上がより重要となっています。

沖縄県におきましては、保育所職員が更なる専門性と資質の向上を図るため、各関係機関と連携し、キャリアアップ研修や保育スキル向上研修等を実施しております。併せて、保育士の処遇や労働環境の改善を含めた、保育士が働きやすい環境の整備を引き続き進めてまいります。

これらの取り組みを進める上で、県、市町村と貴連盟をはじめとした保育関係団体の皆様がこれまで以上に緊密に連携し、保育現場に求められている支援や保育制度の在り方について、認識を共有していくことが重要であります。

沖縄県私立保育園連盟におかれましては、会員相互の結束のもと、現場が直面する課題等について、様々な側面からの支援を行うことにより、本県における保育の更なる質の向上に御高配いただきますようお願い申し上げます。

結びに、沖縄県私立保育園連盟のますますの御発展並びに関係各位の御健勝と御多幸を祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成30年度受賞者紹介

◆ 厚生労働大臣表彰



さんご保育園
金城 美江子

◆ 知事顕彰



柿の実保育園
石川 君子

◆ 全私保連表彰保育功労賞



にじの色保育園
譜久山 千代子



小祿南保育園
赤嶺 恵子



みやら保育園
宮良 實守

◆ 全国保育協議会会長表彰



かなな保育園
新里 政



グッピー保育園
ウィンフィールド ひろみ

沖私保連新年交流会

平成31年1月10日(木) ホテルロイヤルオリオンに於いて、一般社団法人沖縄県私立保育園連盟新年交流会が催され、会員や日頃お世話になっている来賓の方々、関連業者の皆様、そしてお忙しい公務の合間を縫って玉城デニー知事もご列席くださり、総勢152名の出席者が一堂に会して交流を深めることができました。

はじめに主催者あいさつとして、県私保連 仲地賢会長より、幼児教育無償化に伴う給食材費保護者負担の問題について触れ、沖縄の子どもの貧困問題からも福祉の精神に逆行しているとして、保護者を巻き込んで反対の声を政府に届けようと呼びかけられました。

その後、沖縄県知事玉城デニー氏より来賓あいさつを賜り、幼児教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼児教育無償化に伴い、子育てしやすい社会の実現、子育て支援の充実を図っていき、待機児童解消と同時に、保育士のための処遇や働きやすい環境の整備、キャリアアップ研修の推進などを進めていきたいとお話してくださいました。

オープニングのさんご保育園職員による「かぎやで風」では、三味線と琴の生演奏、地方(じかた)、あでやかな舞踊が、新年にふさわしい華やかな幕開けを飾り、沖縄県社会福祉協議会常務理事の嘉陽孝治氏による高らかな乾杯のご発声のあと、会場は歓談でひととき賑わいを見せました。

第二部では、今年度受賞された方々への花束贈呈があり、受賞者を代表してさんご保育園の金城美江子先生から受賞した喜びのご挨拶がありました。

その後、那覇市長 城間幹子氏よりあいさつを賜り、昨今の子育て環境の変化により保育事業者の担うところが大きいことから、子ども子育て支援政策を最重要課題の一つとして位置付け、今後も課題改善に向けて力を合わせて取り組んでいきたいこと、また土曜(休日)保育について、家庭保育の協力願いを行ったことについても触れ、保育士の労働環境を子どもの子育て環境と同様に重要視していることなどをお話ししてくださいました。

余興では、夫婦アーティスト「ちむぐくる」が楽しいトークと美しい歌声を披露し、サプライズでさかえ保育園園長の高江洲寛先生(MC半蔵)が「BIGMAMA」を披露したことで会場はさらに盛り上がりしました。会は終始楽しく和やかな雰囲気の中で進められ、出席者同士が親睦を図り今後の保育に対する思いを共有しあった新年のスタートとなりました。



仲地賢 沖私保連会長



玉城デニー 沖縄県知事



城間幹子 那覇市長



嘉陽孝治 沖社協常務理事



金城美江子 先生



幕開け「かぎやで風」



知事と沖私保連三役・顧問



城間那覇市長とパチリ



平成30年度受賞者の先生方 おめでとうございます



余興の歌にうっとり

大勢の方の参加で
盛り上がりました上原 東 副会長
(閉会の挨拶)司会お疲れ様でした
岸本恵美子 事業部長

受付総務部の皆さん

いつも支えて
下さり感謝
事務局
鳥袋さん 橋口さん

予算対策部活動報告

平成30年度 要望署名・カンパについて

一般社団法人 沖縄県私立保育園連盟
予算対策部長 田仲 雄二

今年度も「子どもの育ちと子育てを保障し保育をよりよくする署名・カンパ」活動を行いました。予対部で集計を行い最終的には35,637名の署名と3,236,613円のカンパをご協力いただきました。全国では883,915名の署名を集め平成30年12月12日（水）参議院議員会館（永田町）にて行われた平成30年度公益社団法人 全国私立保育園連盟予算対策委員会にて、尾辻秀久先生（参議院議員 元厚生労働大臣）を通じて内閣総理大臣宛提出いたしました。皆さまからのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。署名の要望内容は、全国各ブロックの予算対策委員会にて精査し各地方の意見を反映させる方式をとり幅広い地域の保育実態を国へ届け保育制度が充実するよう内容を検討しています。

少し近年の保育制度の動向を整理しますと平成27年度より子ども・子育て支援新制度が施行されていますが、先の民主党政権下で示された“総合こども園法”では、市町村による保育実施義務を規定する児童福祉法24条1項（以下24条1項）を削除しすべての施設を保護者との直接契約にし、規制を緩和した類型の施設を増すことで待機児童を解消する目的がありました。直接契約にすることは市場化へと繋がり公的責任が後退し、子どもの保育を受ける権利が保障されない状況が危惧されていました。その動きに対し、九州保育三団体協議会を中心とした組織が、予算対策活動を通じ、東京日比谷公会堂にて保革を超えた政党を代表する国会議員の先生方を含めた大集会を開き、公的責任の重要性を訴えました。結果、最終的な法案成立過程において三党合意（民主・自民・公明）にて修正が加えられ新制度においても我々認可保育所におきましては、児童福祉法24条1項の「市町村の保育実施義務」は堅持されています。このような運動を展開するためには、沖私保連会員を代表する会長・副会長をはじめ役員が全国・九州の先生方と最新の国の動向と、その問題点を共有するため研修会や会議に参加し、組織で幾度となく国への要望・請願活動などの予算対策活動を強化していくことが不可欠でしたし、今後とも必要となっております。これまで以上に24条1項における市町村の保育実施義務が保障されている認可保育所として子どもの権利保障を共に訴えるためご理解ご協力宜しくお願いいたします。

平成30年度 第2回予算対策委員会について

平成30年12月12日（水）参議院議員会館（永田町）にて平成30年度 第2回全国私立保育園連盟予算対策委員会が開催されました。小林全私保連会長、山名予算対策委員長より挨拶のあと来賓挨拶として尾辻秀久先生（元厚生労働大臣）有村治子先生（元少子化担当大臣）より「現場の意見を吸い上げるべくこの予対委員会に参加している」「毎年子どもたちのためにしっかりやれといわれる要望（署名提出）に感謝」「幼児教育・保育の無償化等に伴う現場の先生方が懸念されている課題解決にしっかり取り組んでいく」とのお言葉がありました。内閣府、厚労省担当者より行政説明後の質疑応答では、幼児教育・保育の無償化に伴う給食食材費の実費徴収の方向性が示されていることについて各予対委員から「無償化は少子化対策の一環として評価されるべきものと考えますが、準備期間が少なく混乱が予想される」「保育園で生活している子どもたちの食事は、子どもの人格形成の上で重要なもの。国の負担で保障すべき」「保育現場の事務負担増や滞納のリスク、さらに実費徴収ということにより各施設での単価設定になるなど様々な問題が起こってくる」など多くの懸念事項が提起されました。両省の担当者もまだ細かなところまで整理されているようではなく困惑している様子も伺えました。これから予定されている実施日（2019年10月）まで期間はありますが保育現場の声をしっかり伝え改善させていくことが重要であると感じました。



尾辻 秀久 先生



有村 治子 先生



署名手交

県出身者国会議員への要請行動

平成30年度 県選出国会議員要請活動について

平成30年度 第2回 全国私立保育園連盟予算対策委員会終了後、15時30分より沖縄県選出国会議員へ要請活動を行いました。これは毎年12月の全私保連予算対策委員会に併せて、各都道府県会長を中心として地元選出国会議員へ次年度保育関係予算・制度に関する改善要請を行う一斉活動となっています。衆参両院議員事務所（永田町）を訪ね署名活動の要望内容を仲地会長・上原副会長を含む7名の役員で要請訪問を行いました。国会が終了していることもあり、本人対応3名、秘書対応6名でありましたが、上京してわれわれ私保連の予算・保育制度に対する要望を時間が少ない中、意見交換できました。特に「財源が限られているなかで保育士の配置基準見直し等、制度を抜本的に見直すことが優先」「幼児教育・保育の無償化に伴う給食食材費の実費徴収に関して断固反対。戦後児童福祉として保障してきた給食。児童福祉の後退につながる」など先の全私保連予算対策委員会でも懸念される事項を伝え、議員の先生方のお力添えをいただくよう強く訴えました。

【参議院議員会館】

糸数慶子議員 面会 秘書対応
伊波洋一議員 面会 本人対応
儀間光男議員 面会 秘書対応

【衆議院第一議員会館】

赤嶺政賢議員 面会 秘書対応
下地幹郎議員 面会 秘書対応

【衆議院第二議員会館】

照屋寛徳議員 面会 秘書対応
西銘恒三郎議員 面会 秘書対応
國場幸之助議員 面会 本人対応
宮崎政久議員 面会 本人対応

平成30年度(公社)全国私立保育園連盟
第2回予算対策委員会及び各都道府県選
出国議員要請活動【参加者】

仲地賢会長 上原東副会長
仲間明総務部長
田仲雄二予算部長
當銘巧北部ブロック長
上間浩也中部南ブロック長
末吉幸博予算副部長



糸数慶子議員(秘書)



伊波洋一議員(本人)



赤嶺政賢議員(秘書)



照屋寛徳議員(秘書)



宮崎政久議員(本人)



儀間光男議員(秘書)



下地幹郎議員(秘書)



國場幸之助議員(本人)



西銘恒三郎議員(秘書)

玉城顧問への記念品贈呈

2018年10月15日(月) 沖私保連 仲地会長、上原副会長、長嶺副会長が室川保育園を訪れ、昨年、瑞宝双光章を受章された玉城善徳顧問へ記念品を贈呈しました。

金色で「TAMAKI」と刻印されたデスクマットを贈呈された玉城顧問からは「ありがとうございます。大事に使います」と喜びのコメントがありました。



沖縄キリスト教短期大学との連絡会

2018年10月19日（金）沖縄キリスト教短期大学との保育者養成に関する連絡会を行いました。

私保連からは仲地会長をはじめ三役、部長、ブロック長含め9名、沖縄キリスト教短期大学から青野部長はじめ先生方、キャリア支援課の方を含め11名が参加しました。

冒頭、青野部長より「平素から沢山の学生を実習でお受け下さり、就職でもお世話になり大変感謝しております。教員一同、保育士を育てるべく学生とよく会話をし、時には厳しいことを言い、励ましながら指導しています。本日は先生方からご意見やご要望を賜りたいです」とのご挨拶がありました。

続けて仲地会長より「毎年、こうして意見交換の場が持てることに感謝申し上げます。保育園での実習、就職について意見交換ができればと思います。」のご挨拶がありました。

沖縄キリスト教短期大学側からは、卒業生101名のうち、就職決定88名、私立保育園65名、就職希望者が80%を超しているとの就職についての説明がありました。また、実習先で普段使用している歌やピアノなどの楽譜を事前に提供して欲しいなど具体的な要望が出されました。

私保連側からは、学生の思いを実習前に聞き、どんな実習にしたいのか、どんな職場環境を求めているのか、といった具体的な質問が出されました。その質問に対しては、「実習計画書」を事前に郵送で送れるように検討していきたいということと、職場環境については、学生の皆さんの意見として、正規職員がいるか、自分の住んでいる地域から近いところを希望していること、給与や賞与、休暇より働いている現場の保育士の声が聞きたいようだとのお話がありました。

実習では、保育のすばらしさ、やりがいも感じ、保育士の魅力を感じることができたという大方の意見の一方、残念ながら、学生が望む実習を受けさせてもらえなかったことで保育現場に対して失望感を抱いてしまったという一部の事例報告がありました。

実習後は、自己の課題を明確化し、実習後の事後指導も行いながらさらに保育についての学びを深めているとのお話がありました。

私保連側からは、慢性的な保育士不足の中、保育士のゆとりがない部分が出てしまったのではないかと、今の保育現場の状況を理解してもらいながら養成校、行政、現場と連携を取りながら働きやすい環境を作っていかなければならない。将来の担い手を育てるといった観点から子どもと向き合い、心を育てる保育を行っていかなければというお話がありました。

実習における具体的な要望や意見が双方から活発に出され、働きやすい保育現場の環境づくり、保育士の現状等の情報交換をし、互いに連携し保育者育成に力を尽くしましょうとの思いを共有することができました。



子どものつぶやき

- ・平成30年も終わりに近づいてなのか、数人の子が「〇〇は午（うま）年だよ」「お母さんは兔年」と干支の話で盛り上がっていると、Aちゃんが「Aのお母さんはやぎだよ！」
星座の“やぎ座”と勘違いしているのね。（3歳）
- ・散歩の途中で、突然の雨に降られ、迎えに来た園バスに乗り込んだNくんが、運転手の副園長先生に一言。
「〇〇先生、もうダメかと思ったよ・・・」Nくんにとって、一刻を争う事態だったようです。（4歳）
- ・朝の出席点呼で、「Rく～ん」と呼んでもきょとんとした表情で返事をしない0歳児のRくん。
隣に座っていた月齢の高いKくんが、そっとRくんの手を取って高く挙げ「はいー！」と返事をしてくれました。（0歳児）
- ・バスで移動の車窓から見えた自動車工場。
Aくん「あ！こーじゅーだ」B「こーじゅーじゃないよ“こーじゅー”だよ」と力説。
「こーじゅー」「こーじゅー？」二人のやりとりで笑いをこらえるのに必死の保育士でした。
“こーじょー”って教えてあげたかったんだよね。（3歳）
- ・クリスマスを探しに近隣散歩に行き、園に戻ってきた子どもたちに「サンタさんいた？」と聞くと
「ダイソーにいたよ～！」（3歳児）
- ・赤サンタ⇒みんなにプレゼントを届ける。黒サンタ⇒プレゼントを隠しにくる。（4歳児）
- ・久しぶりのジャンパーを着て、昨年まで気づかなかった内ポケットを発見。
保育士「〇〇さん、ここに何を入れるの？」と聞くと「う～ん、大切なもの」
保育士「大切なものってなに？」の問いに「そーだ！ママを小さくして入れる！」（4歳児）
- ・（番外編）園長「ごめーん、何の気なしに靴箱を洗っちゃった。まだ乾いてないからね」
保育士A「わかりました」保育士B「あの靴箱、“なんの木”って木だったんですね～。知らなかったあ」
園長「“何の気なしに”だよ、“なんの木”じゃないよ～！」一同、大爆笑。言葉の伝え方って難しい～（笑）

冬の風景



沖私保連の動き

11月

3日(土) 県功労表彰式
5日(月) 研修部会
7日(水) 会計指導
8日(木) 労働セミナー
10日(土) 保育合同説明会
12日(月) 三役会 会計報告
13日(火) 理事会(石垣市)
14日(水) //
15日(木) 予対部会
16日(金) 九州三団体理事会
24日(土) 八重山研究発表会
27日(火) 事業部会
30日(金) 保協協議会

12月

5日(水) 会計指導
10日(月) 三役会 会計報告
11日(火) 県社協施設長会議
18日(火) 理事会
21日(金) 広報部会
26日(水) キャリアアップ研修
28日(金) 仕事納め

1月

4日(金) 仕事始め
福祉センター新年懇談会
9日(水) 三役会
10日(木) 理事会 新年交流会
14日(月) 成人の日
25日(金) 広報部会
27日(日) 私保連文化祭



編集後記

- ・平成も終わろうとしている今、保育界はまだ課題が山積しているが、私たちは子どもたちの育ち、子育て家庭の支援等、その解決のため、積極的に行動を起こしていかなければならない。この紙面を通して沖私保連の思いを発信する責任の重さを痛感しているところだ。来年は亥年。猪のように猪突猛進、子どもたちのために前に前に突き進もう。夢と希望が花開く年になることを信じて。(理子)
- ・久しぶりに参加し色々とう交流を持ち良かったです。他の園のつぶやきや子どもたちの姿が見え楽しいひとときを過ごしました。
- ・12月になっても日中は暖かくクーラーをかけながらクリスマスを楽しんでいます。今年も早く過ぎ去り新年に向けて前進!! (いのししのYでした)
- ・クリスマスシーズンの今日の会議。お菓子を前に話も弾む。「子どものつぶやき」で心もお腹もほっこり!(向陽)
- ・原稿のチェック、話し合いが情報交換となり、いい学びになった。今度もいい原稿になっているなあと、多くの人に読んでいただきたかった。

- ・体重増加に危機感を感じている昨今、広報部会で出てくるたくさんのお菓子が手が伸びてしまう自分の意志の弱さを痛感しながら2019年こそはヤセる!と決意しています・・・達成できるかな?(不安) (モリモリ)
- ・平成最後の年末。心が温まる子どものつぶやきを聞きながら心もお腹も満たされた時間でした。(M.M)
- ・夢と喜びのある紙面づくりをめざしてGO!!の思いで参加しました。(T)

29人乗り マイクロバス レンタル&リース専門店
8-10月 送迎車

マイクロバスのことなら何でも相談ください!

★マイクロバス29人乗り(例)
◎1日/30,000円(税別)
◎1ヶ月/220,000円(税別)

幼児送迎バスもレンタルできます。

(一社)沖縄県レンタカー協会正会員

県庁からトラックバスまで、最良のレンタル車... 0120-66-2256

てい~だレンタカー 株式会社 リード TEL.098-923-2123

りゅうせき商事で 取り扱い 訪問保守 はじめました!

CoDMON 保育園専用業務支援システム **コードモン**

国務の効率化! 保育園の課題ICTで解決!

園→保護者 連絡 登降園 管理 園行事写真 販売 職員 シフト作成 指導案 日誌作成

全国導入実績 **1,700園以上**

りゅうせき商事(株) ソリューション事業部 CoDMON 正規代理店

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-20-1 TEL.098-874-6665 担当: 東恩納

中縄 バーゲンブック 砂場美人

【取扱い】 絵本、砂場メンテナンス、保育用品、室内・園庭遊具など
♪なんでもご相談ください♪

沖縄科学教材社 TEL/FAX 098-927-6433

〒902-0073 那覇市上間366-1 担当: 島袋 康平

AIG AIG 損保

園児総合
保障制度

キッズガード

(商品名: こども総合保険)

健やかなお子様の成長のために...

☆その他、施設長・職員の皆さまへの
福利厚生保険も扱っています。

お問い合わせは下記連絡先までどうぞ。

引受保険会社

AIG 損害保険株式会社

沖縄支店: 〒900-0015 那覇市久茂地 1-12-12
ニッセイ那覇センタービル 3F
TEL: 098-862-2174 FAX: 098-863-0960

保育園厨房機器・厨房用品全般
食器洗浄機・食器消毒保管庫等

(株) 盛厨房設備 リサイクル厨房館

本 店 〒901-2122 浦添市勢理客 2-15-1
TEL: (098) 878-3182 FAX: (098) 874-2405

ひかりのくに株式会社 沖縄営業所

TEL098-889-4339 FAX889-1808

✉ okinawa@hikarinokuni.co.jp

ひかりのくに

取扱: 幼児の月刊絵本・教材・楽器・積木
園児服・什器・備品・園庭遊具 他

風邪の予防にアロマ

冬季限定 ピュリファイブレンド

【お客様の声】

ひどい鼻炎もちの私のお気に入りにはピュリファイブレンドです。鼻炎の時に、熱いお湯に1滴垂らして吸入するだけですと楽になります。また子供が夜咳をしているときにディフューザーに入れて焚いたら咳がびたっと止まったのには驚きました。



お陰様でベタルーナは10周年を迎えました。10周年に伴いロゴとパッケージのデザインのデザインを一新しました。今後ともベタルーナをどうぞよろしくお願いいたします。

オーガニック&アロマ ベタルーナ
TEL 098-943-6550 FAX 098-861-5177

<http://petaluna.com/>

幼い胸に美しい夢と感動を

劇団 飛行船

<http://www.hikosen.co.jp> ©CIS-HIKOSEN

〒530-0047 大阪市北区西天満4-7-3-4F Tel 06-6364-3769

未来の子供たちへ
絵本が育てる子供の心 **チャイルドブック**

明日の園環境づくりを応援します

株式会社 チャイルド本社
沖縄営業所

〒901-0203 沖縄県豊見城市市長堂 144-2
(TEL) 098-856-8630 / (FAX) 098-856-8635

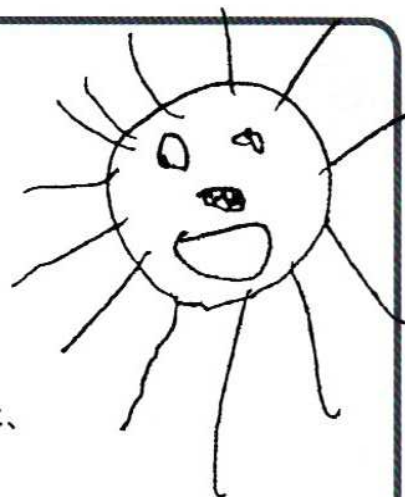
RICOH

リコージャパン株式会社

沖縄支社: 那覇市寄宮 1-3-37 NTT 那覇ビル 1F
支社長 大田 喜 浩



園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。

(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。

ほいくのほけん

「園賠償責任保険」
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」
「特別保育事業賠償責任保険」
など、園経営におけるリスクに関する保険を
ラインナップしています。また、それらを総合的に
補償するセットプランもご用意しております。

園児総合保障 共済制度

園児を24時間補償する共済制度
(総合生活保険(こども総合補償))です。
団体契約による割引の適用で割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

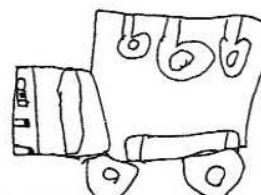
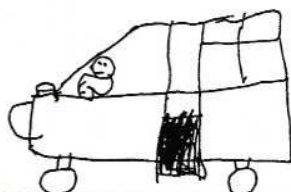
〈連絡先〉 (公社)全国私立保育園連盟指定
東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第二部 文教公務室
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害
保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(こども総合補償)の概要について
ご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。
詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする
保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険
会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要
事項説明書」をよくお読みください。



17-T10450 2018年2月作成